

# 木材ジャーナル名古屋・せいぶ

令和8年4月号 No.227

名古屋木材組合  
名古屋港木材産業協同組合

## 名古屋港木材産業協同組合 第51回通常総会開催

名古屋港木材産業協同組合の第51回通常総会が、令和8年3月23日(月)午前10時00分から名古屋港木材会館会議室で、委任状を含め52名の組合員が出席し、開催されました。

総会は、服部伸一理事長を議長に選出し、次の議案を審議し、いずれも原案通り可決されました。

### 議事の概要

第1号議案 第51期事業報告書、財産目録、貸借対照表、損益計算書及び剰余金処分案の承認について

第2号議案 第52期事業計画及び収支予算(案)の承認について(事業計画の要旨)

- 1 名古屋港木材産業協同組合の事務所を、名古屋港木材会館内に置き、名古屋港木材会館の運営を、引き続き株式会社名古屋港木材会館に委託し、会議室を組合員及び関係者の利用に供する。
- 2 組合運営上の諸問題について、関係官公署及び関係団体と折衝協議を行い、関係官公署からの通達等についても組合員への周知に努める。なお、貯木場の問題については、名古屋港管理組合と協議しながら検討する。
- 3 名古屋港西部臨海地帯の諸問題について、名古屋港西部臨海地帯企業連絡協議会と、官公署側協議組織である「飛鳥村臨港地区連絡協議会」の協議により解決に努める。また、西部臨海工業地帯防犯協会を通じて、暴走族(ドリフト族)の排除を含めた地域の犯罪予防及び治安の維持並びに名古屋港西部臨海地帯の発展に努める。
- 4 名古屋木材港の円滑な運営と利用推進を図る。なお、組合員の貯木場の使用及びことう門の使用について、名古屋港管理組合と協議調整を行い、組合員の利便を図る。
- 5 名古屋木材港再編整備協議会に出席し、港湾計画改訂に反映させるため、将来の西部木材港のあり方について意見を述べる。
- 6 組合員の事業に関する経営技術等の改善向上、労働災害等の防止及び組合員に諸情報を提供し、次の事業を行う。
  - (1) 組合員の経営技術等の改善向上を図るため、視察、講習会の開催
  - (2) 労働災害の防止のため、安全衛生活動を推進し、津島労働基準監督署の指導による、講習会、安全衛生パトロール等の実施

(3) 教育情報誌「広報 木材ジャーナル名古屋・せいぶ」の定期発行、HPへの掲載

(4) 飛鳥村商工会との異業種交流事業に参加する

- 7 組合員に対する福利厚生事業として、名古屋木材健康保険組合の事業を後援または共催し、保健・レクリエーション事業に参加する。
- 8 組合員の防災意識向上に向けた取り組みを行い、防災シンポジウムを開催する。
- 9 前各号に付帯する事業について、必要に応じて実施する。



第3号議案 経費の賦課及び徴収方法並びに加入手数料、その他決定について

- 平等割 年額 20,000円とする
- 面積割 名古屋港木材団地の所有土地または常時使用する土地  
1平方メートル当たり 年額 2円とする
- 水面割 使用水面(貯木場)  
1平方メートル当たり 年額 1円とする

第4号議案 理事及び監事の選挙について

本通常総会終結時をもって理事及び監事の全員が任期満了となるため、役員選挙を行なうものです。

役職名	氏名	所屬	備考
顧問	嶺木 昌行	丸美産業株式会社	
理事長	服部 伸一	服部産業株式会社	再任
副理事長	鈴木龍一郎	材惣木材株式会社	再任
副理事長	西垣 洋一	株式会社 山西	再任
副理事長	江口 達郎	江口木材株式会社	再任
理事	鈴木 和雄	株式会社東海木材相互市場	退任→顧問
理事	丹羽耕太郎	名古屋木材株式会社	再任
理事	吉村 福德	吉村製材株式会社	再任
理事	浅井 勇詞	アサイウッドマテリア株式会社	再任
理事	梅谷 雅和	株式会社水野商店	再任
理事	鎌田 茂徳	大日本木材防腐株式会社	再任
理事	櫻井 雅規	櫻井木材株式会社	再任
理事	嶺木 一志	丸美産業株式会社	再任
理事	鈴木善一朗	株式会社東海木材相互市場	新任
理事	佐治知加子	名古屋港木材産業協同組合	再任
監事	上地 浩之	上地木材株式会社	再任
監事	山田 晃司	天龍木材株式会社	再任

また、総会後に開催された理事会で  
代表理事(理事長) 服部 伸一  
副理事長 鈴木龍一郎  
副理事長 西垣 洋一  
副理事長 江口 達郎 各氏が選任されました。

“いま、木に本気” 暮らしに活かそう木の良さを

## 名古屋港臨海部の防災力向上へ 防災シンポジウム開催

### KIBOU (木防) プロジェクト

名古屋港臨海部における防災意識の向上と企業間連携の強化を目的として、KIBOU (木防) プロジェクトでは令和8年3月17日に飛島村公民館分館にて、～南海トラフ地震に備えるために～をテーマとした防災シンポジウムを名古屋港西部臨海地帯企業連絡協議会共催で開催しました。当日は地域企業の関係者をはじめ、自治体や関係機関など多くの参加者が集まり、臨海部における災害対策について理解を深める機会となりました。



シンポジウムでは基調講演として、レスキューストックヤード (認定NPO法人) の栗田暢之代表理事による講演が行われ、南海トラフ地震の発生が懸念される中、臨海部における地震や津波、高潮などの災害リスクについて具体的な解説がなされました。臨海部は物流や産業を支える重要な拠点である一方、大規模災害への備えが不可欠であり、企業が平時から防災意識を高め、事業継続計画 (BCP) の整備や従業員の安否確認体制の構築を進めることの重要性が強調された。



続いて、飛島村による「地域で備える防災」の講演や、蟹江警察署から臨海部における「交通・防災について」の説明が行われました。また、名古屋港管理組合からは港湾事業者における防災への取組について紹介があり、名古屋港におけるインフラの概要に加えBCPについて具体的な説明があり、参加者にとって非常に参考になる内容でした。

さらに、(株)JERAや材惣木材(株)における防災の取り組み事例、ダイドードリンコ(株)、レスキューストックヤードによる災害時に活用できる防災資機材の紹介がありました。また会場では防災用品の展示や備蓄庫の内覧も行われ、災害時に役立つ資機材・避難所の備蓄庫を実際に見ていただく機会を設けました (一部の防災用品は名古屋港木材産業協同組合においてありますので、ご興味のある方はご連絡ください)。参加者は実践的な内容に熱心に耳を傾けていました。参加者からは「自社の防災体制を見直す良い機会となった」「行政と企業の連携の重要性を改めて感じた」といった声も聞かれ、防災への関心の高さがうかがえました。

災害はいつ発生するか分かりません。だからこそ企業として日頃からの備えを進めるとともに、地域や関係機関との連携を深めることが重要です。

本シンポジウムを通じて、企業・自治体・関係機関が防災について共に考え、連携を深めるよい機会となり組合企業それぞれが防災対策を一層推進し、安全・安心な事業環境づくりにつながることを期待されます。

今後も組合として、防災に関する取り組みを継続し、当地域の防災力向上に貢献していきたいと思っております。

## ◆ 合縁木縁 ◆

### 「寒冷地国産広葉樹について」

弊社は広葉樹原木の木材卸を専門にしております。今回は寒冷地域の広葉樹に焦点を当て、現状と魅力を発信いたします。日本産広葉樹は、家具・内装材として高い付加価値を生む貴重な資源です。多様な利用を推進する観点から、北海道・東北・北信越の動向に注目が集まっています。全国広葉樹素材生産量は約172万m<sup>3</sup>（令和5年林野庁木材統計）。北海道が45万m<sup>3</sup>と全国1位（約26%）を誇り、天然木の宝庫としてカバ（樺）類が特に豊富です。東北（特に岩手県）はこれに次ぐ生産量を維持し、市場システムのIT化（ウェブ入札等）により出品量が飛躍的に増加しています。また北信越地域も、各木材市場を通じて良質な広葉樹を安定的に供給しており、これら3地域が国産広葉樹の主要拠点となっています。円安進行と輸入材高騰の影響により、国産広葉樹丸太価格は上昇傾向にあります。特に高品質なナラやタモはプレミアム価格で取引され、森林所有者の収入向上に大きく寄与しています。ただし、全国的に拡大するナラ枯れ対策を進めつつ、良材の安定的確保が今後の鍵となります。

次に寒冷地広葉樹の樹種別用途を簡単に説明いたします。

- ナラ（樺）：重厚感があり耐久性に優れ、家具・フローリングに最適です。近年、ミズナラウイスキーの樽需要が急増し、相場が大幅に上昇しています。
- タモ（樺）：優れた弾力性から、野球バット・スポーツ用品・楽器に重宝されています。良材は家具や突板として高級ホテルの内装材にも広く用いられています。
- カバ（樺）：軽やかで加工性に優れ、合板・家具・フローリングに使用されます。北海道では年に1回開催される銘木市売で最高級材が出品され、注目を集めています。
- セン（栓）：明るい色合いと加工のしやすさが魅力で、建具・和室内装・木地工芸品に適しています。平成初期まではケヤキの代用材として用いられていましたが、近年はセン本来の価値が見直され、内装材として高評価を得ています。

上記以外にも紹介したい樹種はたくさんございますが、今回はここまでとさせていただきます。

次回は、株式会社フジモク 林 健多氏にお願いします。

## 木場すずめ

### 「ネタ切れ」

この原稿の依頼を先月受けまして、何を書こうかと考えながら、慌ただしい毎日の中ですっかり後回しになり今日に至っているわけですが、それにしても書くネタが思いつきません。あれを書こうか、これを書こうかと思うのではなく、まさしく書くことが思いつかない「ネタ切れ」であります。

休みの日も仕事について考えることが確かに多いせいか、それ以外のことについて、関心がないのか、自分の中に情報があまり入ってこない感じがします。

最近のニュースで原油価格の高騰の話題を聞くと、会社にある20台ほどのエンジンリフトの軽油代が跳ね上がるなと思うのが先で、うちのカミさんが言う「せっかく下がったガソリン代がまた上がる！」という内容に後で気付いて、「おお、そうだな」と反応している始末です。外に酒を飲み行く時も、仕事以外の仲間と飲んでいるのに話している内容は仕事の話になっており、「こういうところが上手くないんだよね」とか「安い運送会社知らない?」とか、そんな話で3時間も酒が進んでしまい、会話が成り立たってしまう今日この頃です。

しかし、これは明らかにつまらない人間と呼ばれるのにふさわしい状態になっていると改めて気付く、最初の話に戻って、今回の原稿のネタを探すべく、日曜日にポストに届いていた新聞を手に取り、何かネタがないか開いてみようとした時、広告がバサッと落ちました。10枚ぐらい折りたたまれており、拾いながら見てみるとスマホの乗り換えチャンスとか、家具のアウトレットバーゲン、スーツの応援フェア、スーパーの決算セール、新車、電化製品、塾、リフォーム、出張取りの広告等、本当に様々な内容のカラー広告が入っていました。3月ということで時期的に就職、あるいは進学準備を狙った広告、決算時期を利用したセール、処分価格といった広告の比率が高い…とつい分析して肝心の中身（商品、値段）には全く関心がないのであります。またこの広告の仕上げ、デザインにどれだけのコストが掛かっているのだろう、車の販売広告でもA3サイズもあればA2サイズもあり、この考え方の違いは何だろう？利益が高い会社とそうでない会社の差か、マーケティング調査の上で地域ごとに広告の大きさ、内容を変えているのか？

結局広告の中身自体には関心のない、ただ余計なことを考える時間を増やしたただけでした。次は新聞でも見てネタを探そうかというところですが、そろそろ原稿の文字数が満たされてきましたので、原稿が出来たということにしたいと思います。

最後まで「ネタがない」というネタでした。

### 西垣洋一氏 旭日小綬章受章記念祝賀会開催

令和8年2月24日(水)午後5時から「エスパシオ名古屋キャッスル天守の間」において、昨年秋、旭日小綬章を受章した西垣洋一氏の「受章記念祝賀会」が、木材業界4団体の共催により開催された。当日は、来賓はじめ業界関係者など300余名が出席し盛大な祝賀会となった。

冒頭、狂言が催され、和泉流狂言共同社によるお目出度い演目「福の神」を鑑賞した。その後、一般社団法人愛知県木材組合連合会副会長 鈴木龍一郎氏の開会のことばで会が始まり、発起人代表である名古屋木材組合相談役 鈴木和雄氏が、受章から今日に至る経緯と出席者への謝辞を伝えるとともに、西垣氏の木材業界への貢献を称えた。

続いて、出席者を代表して大村秀章愛知県知事、小坂善太郎長野庁長官、菅野康則全木連会長がお祝いのことばを述べた。

その後、西垣氏が謝辞と併せて、先のコロナ禍で開催直前に受章祝賀会が中止となった嶺木昌行氏(丸美産業株最高顧問)を壇上に招いて花束を贈呈し敬意を表した。

祝宴は愛知県木材協同組合連合会会長 服部伸一氏による乾杯の後スタートし、名古屋城を望む広い会場は祝福ムードに溢れた。あっという間に2時間が過ぎ、愛知県木材買方協同組合理事長 桑原教行氏が締めあいさつを行い、三本締めが会場内に大きく響き渡り閉会となった。



第16回名古屋木材組合ゴルフコンペが3月22日(日)南山カントリークラブで開催されました。順位は下記のとおりです。

👑 1位 杉坂 博氏(丸美産業株)  
 2位 大平武志氏(株大平)  
 3位 林 祐司氏(株フジモク)

☆☆☆ 西部臨海安全ニュース ☆☆☆

### タイヤの盗難にご注意を!

蟹江警察署管内ではタイヤの盗難が増加しています。タイヤ盗難を防ぐため次のような対策をしましょう。  
 【鍵のかかるところに必ず保管!】  
 【防犯カメラやセンサーライトの設置がある場所を選びましょう】  
 【チェーン等でタイヤを固定して持ち運びにくい状態にしましょう】

蟹江警察署 生活安全課 生活安全係 TEL.0567-95-0110

### ◆ 広告コーナー

Technology for Clean Air & Bulk Handling

# INOUE

集塵装置の省電力・安全  
木質バイオマスの利活用

🗨️ ご提案します!!

快適な環境づくりに取り組む  
**井上電設株式会社** 〒460-0022 名古屋市中区金山4丁目3-17  
 ☎052-322-5271 <https://www.inoue-d.co.jp>

世界初!

## 100%リサイクルせっこうボード

チヨダサーキュラーせっこうボード  
**CHIYODA CIRCULAR BOARD**

廃せっこうボードから作られたリサイクル石膏を100%使用し、製造時のカーボンニュートラルを実現しました。

- 廃せっこうボードを100%原料に使用
- 製造時のカーボンニュートラル
- 従来製品と同じ高い耐火性能

共に歩み、明日を創る。  
**CHIYODA VISION ZERO** チヨダサー

発行 名古屋木材組合  
 発行者 西垣洋一  
 〒460-0017 名古屋市中区松原2-18-10  
 TEL <052> 331-9386  
 FAX <052> 322-3376  
 【編集】名古屋木材組合広報委員会

発行 名古屋港木材産業協同組合  
 発行者 服部伸一  
 〒490-1444 海部郡飛鳥村木場1-74  
 TEL <0567> 57-2017  
 FAX <0567> 57-2018  
 【編集】名古屋港木材産業協同組合広報委員会